

## 優秀ポスター発表賞 受賞者



### P05 一方向性気孔を有するロータス型ポーラス金属の気孔の分布

大阪大学 産業科学研究所  
金属材料プロセス研究分野 井手 拓哉 君  
優秀ポスター発表賞を受賞し、大変光栄に  
思います。発表では、統計学的な手法により  
気孔形態を評価し、その組織形成過程を気孔  
の生成と成長過程から考察しました。発表で

は、多くの先生方に組織学、拡散、気孔形成の観点から意見を賜りました。今後、それらを踏まえ発展させることで、ロータス金属の基礎的知見だけでなく、応用開発においても重要な知見をもたらすものとなるよう期待しております。



### P07 Al-5%Mg合金の高温延性に及ぼす液体金属浸漬の影響

大阪大学大学院 基礎工学研究科  
機能創成専攻 甲能 渉 君

このたびは栄えある賞を頂き、誠にありが  
とうございました。液体金属を用いて、ほか  
の方々と違う視点から高温脆化の抑制につ  
いて研究を行ったことを評価していただいたの  
ではと考えています。この賞に恥じぬように、今後より一層研究に  
励んでまいりたいと思います。



### P19 半凝固温度域の広いアルミニウム合金の双ロールキャストイング

大阪工業大学大学院 工学研究科  
機械工学専攻 鎌倉 圭佑 君

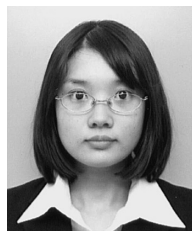
このたびは、優秀ポスター発表賞を賜り、  
大変嬉しく思います。ご指導下さいました羽  
賀先生、研究室の面々にこの誌面をお借りし  
て厚く御礼申し上げます。ポスター作製に当  
たり、相手に説明しやすい図の配置・配色を心掛けました。評価さ  
れた点としては、上記の内容に加え、実際に板材を用いながら説明  
を行い、来場していただいた方と楽しく議論させていただいたこと  
ではないかと考えております。



### P20 溶体化処理時の昇温速度がAC4CH合金鑄物の共晶Si粒子形態と機械的性質に及ぼす影響

山梨大学大学院医学工学総合教育部  
情報機能システム工学専攻 猿渡 直洋 君

優秀ポスター発表賞を頂き大変光栄に思  
います。今回の発表では「シンプルなポスター」  
を心がけ、研究の流れが伝えられるだけの  
データを吟味して掲載しました。また、グラフのプロットの配色を  
工夫したり、補足資料として模式図を多用したりして、視覚的にわ  
かりやすい説明となるように意識しました。この点が評価された  
と考えています。ご指導頂いている中山先生や今回の講演大会を通  
じて多くのご指摘を下さった先生、技術者の方々に深く感謝申し上  
げます。



### P28 Mg-Zn-Gd合金押出材のクリープ変形時におけるLPSO相と $\alpha$ 相加工粒の安定性

熊本大学大学院自然科学研究科  
産業創造工学専攻 城野 百合 君

ポスターではLPSO型マグネシウム合金押  
出材のクリープ特性と組織の関係について発  
表しました。ポスター作成では、本押出材の  
不均一な組織が試験前後でどのように変化す  
るかを伝えられるように図面を工夫し、発表では、要点を押さえつ  
つ簡潔に説明するように心がけたことが、評価されたと思います。  
最後に、優秀ポスター発表賞を頂き心より感謝しております。さら  
に、有意義な議論の場を提供して下さいました関係者の皆様、日頃ら  
ご指導頂いております河村先生、山崎先生に心よりお礼申し上げます。



### P32 Mg-Al-Ca-Mn系合金押出材の組織および機械的性質に及ぼす押出温度の影響

長岡技術科学大学大学院工学研究科  
機械創造工学専攻 高橋 広樹 君

このたびは優秀ポスター発表賞を頂き大  
変光栄に思います。本研究で0.2%耐力  
400MPaを超える汎用マグネシウム合金押出  
材のナノ・マイクロ組織と引張特性の関係を  
解明する糸口を見つけることができました。今後は結晶粒径、  
Al<sub>2</sub>Ca相、底面が押出方向と平行に配向した底面集合組織と引張特  
性の関係を定量的に調べ、引張特性への因果関係を解明できるよう、  
より楽しく研究を進めて参ります。最後に、日頃から御指導・御協  
力頂いております鎌土先生、大石先生、本間先生、徐博士、研究室  
の皆様へ心より感謝申し上げます。



### P36 化合物分散型Mg-Ca-Zn合金押出材の組織と機械的特性

熊本大学大学院自然科学研究科  
マテリアル工学専攻 良井 優太 君

このたびは優秀ポスター発表賞を頂き大  
変光栄に思います。発表においてストー  
リーを意識し研究の目的と成果を簡潔にま  
とめ、議論を盛んに行えるようなポスター  
に仕上げるよう努めたことが評価されたと思います。また、来場し  
ていただいた方々と多くの議論を交わすことができ、今後の研究を  
より深めるための場とすることができました。最後に、日頃らご  
指導、ご鞭撻を頂いている河村能人教授、山崎倫昭准教授に深くお  
礼申し上げます。